

多久市内の先生は、 どんな授業研究を行っているの？



多久市では、本年度で23年目となる「多久市教育委員会委嘱研究（個人の部、団体の部）」に取り組んでいます。2月12日(金)に、教育委員さんや市内の学校関係者が集い、発表会を開催しました。

本年度の先生方（個人研究）の研究主題は、次のとおりです。さまざまな領域、角度から研究に取り組み、先生の指導力向上を高めるとともに、研究内容を共有し、市内児童生徒への実践指導資料として有効活用しています。

【中間発表（H27・1年間）】

○子どもたちが互いに認め合い、高め合う学級経営
 ↳ 体力向上の取り組みを通して

○国際理解教育の視点を重視した外国語活動の展開
 ↳ 他者理解・自己理解の取り組みを基盤として

○人と関わり合う中で、わかる・できる喜びを実感する授業づくり
 ↳ ユニバーサルデザインを取り入れた指導の工夫

○数学的な思考力・表現力を高める算数科学習・指導
 ↳ 自分の考えを表現し、説明する算数的活動を通して

○小中一貫校における系統性のあるスケッチの指導とめあてを探る
 ↳ スケッチの指導法

○基本的な生活習慣の定着を目指して
 ↳ 睡眠に視点をあてて

○授業の改善を目指して生徒が主体的に家庭学習をするための工夫
 ↳ 生徒に学期別到達目標を提示する

【完結発表（H26・27・2年間）】

○小中一貫校における特別支援教育の充実をめざして
 ↳ まなびの通級指導教室の運営と校内支援体制について

○学級内によりよい人間関係を育む学級経営の工夫
 ↳ 学級におけるルールとリレーションの高まりを目指して

○ICTの学習活動における効果的な活用を探る
 ↳ ICT機器とデジタル教科書の利用方法と児童の変容を通して

○生徒が安全・安心・意欲的に取り組む柔道の授業づくり
 ↳ 地域指導者の活用とこれまでできることに工夫を加えて

○命を大切に、思いやりの心を育てる指導の工夫
 ↳ 9か年の学びの連続性を生かした「生と死を考える授業」を通して

○自己肯定感を育み学習内容の定着を図る取組の工夫
 ↳ 中学校数学科における指導を通して

◆祝 受賞 文部科学大臣「学校給食」表彰

西浜小中学校が取り組む日頃の多久市小学校給食センターとの連携を生かした学校給食実践、また、食育指導が大きく評価され、本年度の全国13学校の受賞校に選ばれました。受賞、おめでとうございます。



■問い合わせ 教育委員会 学校教育課 ☎75-12227

温故創新

市長コラム Message for citizen



学びの里プロジェクト発進

市長 横尾 俊彦

「多久の雀は論語をさえずる」「百姓に路を尋ねると鍬を置いて（人の）道を説く」。いずれも多久を表わす言い伝えです。

この背景には多久聖廟と儒学があります。地方の小都市に壮麗な孔子廟を創建した多久茂文公の卓見と英断。志あれば身分問わず学べる学問所もつくられ、それは後に東原席舎となりました。

だからこそ多久は「文教の里」とも称されてきました。その歴史を礎に、未来への人材育成、人格陶冶と、多久からの新発信を狙ってスタートしたのが「学びの里プロジェクト」です。

第1回講演会が2月20日に中央公民館大ホールで開催され、「逆説の日本史」で著名な井沢元彦先生が「孔子・孟子と新儒教」の演題で講演され、ファンをはじめ熱心な聴講となりました。

江戸期の朱子学は徳川家康が奨励したものの、実は孔子孟子の時世とは異なるという分析で始まりました。統治する面が色濃く、商いを蔑視し、商業を最下位とする身分制度など問題があったというのです。商業商人は悪との分析に一瞬会場は静まった感さえありました。しかしそれは本来の儒学と異なるもの。何事もよく吟味し理解が必要との警鐘に、なるほどの反応。時の覇者の都合で変わる面があり、歴史は深く見詰め正しく理解すべきと教えられるとともに、創造なしに歴史の発展はないとの教訓を知るにつけ、まさにイノベーションが重要との思いを強くしました。

半日ご一緒し、爽快なお人柄に魅了される感謝の日でした。

第2回は3月22日夕刻。ホリエモンこと堀江貴文さんから経営や人生に関する講演予定。ご期待ください。さらにユニークで新たな発信の多久アピール動画も準備中です。ご期待下さい。

